



世界、今後の行方

令和4年7月1日現在	
世帯数	: 842世帯
人口	: 1524人
男	: 725人
女	: 799人

我々に出来ることは何か

ロシアの侵攻によりウクライナ国内で戦争が始まり、誰もが、まさかと思っていた戦争の開始となったのです。

国際連合は第2次世界大戦の戦勝国が、主要なメンバーとなり、国際的な紛争を無くそうと、作ったと言われています。

しかしその安全保障の要である常任理事国が当事者となつて戦争を始めてしまい、国連の安全保障機能が、拒否権の乱発でまひし、何も決められない国連と成ってしまいました。今後の世界情勢がどうなるのか、混沌としている状況とされます。

当初はロシアの一方的勝利かと思われていました。しかし、ウクライナが善戦し首都キーウ周辺では、ロシア軍をウクライナ軍が押返し、短期での決着は無くなりました。加えて米EU諸国の支援、武

器の供与等により長期戦となつています。またこの長期戦は消耗戦となり、双方で多くの人命が失われる事となります。

これら戦争の終結には、双方の指導者の話し合いが必要と成ります。しかし、これには指導者の立場、面子等で決着は非常に難しい、仲介者の知恵が試される場面となります。

この戦争の収拾は、処置を間違えると、同じような連鎖の発生が懸念されています。これは日本にとって、他人事と言つていられなくなる恐れがあります。

今我々に出来る事は、平和国家としての支援、難民となつた人々を支援する事。そして関連して、ネット社会で高度化するうそ、それらの真偽を見極める目(情報リテラシー)を向上させて、偽情報に踊らされない、各方面

に目配りをしていく、また信頼性の有る情報以外は、発信を控える必要が有ります。一説によれば、信頼性の有るのは、新聞だという考えがあり、各社の記事を比較すると、より真実に近付くとも言われています。(主要な新聞各社)

これらの紛争は、高度な政治事項であり、軽々に論じる事ではありません。一般の人にとっては、民意として発信していくしか無いと思われれます。

選挙で一票を入れることもその一つとなります。これらは、もどかしい、しかし、やらなければ前には進みません。ジレンマを抱えていても前を向いて行きます。

この戦争の収拾は、処置を間違えると、同じような連鎖の発生が懸念されています。これは日本にとって、他人事と言つていられなくなる恐れがあります。



公民館ではウクライナ人道危機 救援金の受付も行っています

Presented by 視聴覚委員会

まちかどフォト 季節の移り変わり

桜並木と子どもたち



クラフトフェア 開催時の中町



「公民館」って何するところ？

「公民館」という言葉は知っていても、具体的に何をしているのか、いまいちイメージできない。ひょっとしたらそんな方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、第一地区公民館で行われている講座の中でも、今年度開催したものをいくつか紹介します。



阿智村「花桃の里」のハナモモ



満蒙開拓平和記念館 玄関前にて

【「人権啓発視察研修」】
人権に対する意識向上を目的として、人権啓発推進協議会と共催で視察や講座を企画しています。今年度は満蒙開拓平和記念館を訪れましたが、平和や人権について改めて考える機会となりました。後半は福祉ひろばと共催で阿智村のハナモモ見学ウォーキングも行いました。

公民館講座の開催予定などについては、全戸配布の「第一地区地域だより」に掲載しています。また、『こんなことが学びたい』、『私はこんなことができるので、地域の役に広めたい』などのご意見ご要望も、講座を企画する一助となります。ぜひお気軽に第一地区公民館（32-15550）までお聞かせください。



アルプス公園マレットゴルフ場にて

【マレットゴルフ大会】
地区スポーツ協会と共催で行っているマレットゴルフの大会です。大会と言ってもシビアなものではなく、参加者も歓声や笑い声を上げながら、和気あいあいと楽しんでいます。



巨大パラボラアンテナは壮観です…

【「デジタル講座」】
第一地区公民館では恒例となっている講座です。毎年、座学と撮影会で写真の撮り方を学んでいます。今年度の撮影会では野辺山宇宙電波観測所を訪れ、大迫力のパラボラアンテナを写真に収めてきました。座学・撮影会とも引き続き開催予定です。ので、皆さんぜひご参加ください。



電車通り

令和2年12月、松本市は「松本市気候非常事態宣言」2050ゼロカーボンシティを指して「を表明しました。そして今年6月、松本市ゼロカーボン実現条例が施行されました。

条例は、▽再エネ▽温室効果ガス「出さない」▽省エネ▽温室効果ガス「減らす」▽生活スタイル▽公共交通・自転車の利用▽脱プラスチックや食品ロスの削減▽廃棄物の削減▽農産物の地産地消▽再資源化等という3本柱からなっています。

ゼロカーボンとは二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするということですが、これが大変複雑で、本当に難しいのです。まずは、排出量を把握することから始まるのですが、これすら、正確な数字となると算出はかなり難解。

二酸化炭素の排出量と吸収量の均衡が取れると実質ゼロということになるようですが、これもまた複雑怪奇…。人間が、江戸時代の暮らしに戻れたら手取り早いのでしょうか…。